

## ＜緊急談話＞ 違憲法案の強行採決を許すな！

安保法案を巡る攻防が最大の山場を迎え、予断を許さない状況の中、国会をとりまき声あげ続ける人々と、徹底抗戦を貫いている野党の奮闘に敬意を表したい。

京都でも昨夜、国会情勢を逐一報告受けながら、京都市役所前に集結した 1000 を超える人々が「憲法壊すな」「戦争反対」と訴え、河原町通を震わせるアピール行動を決行。当会からも副理事長の渡邊賢治らが参加した。四条河原町での京都弁護士会による連続 10 時間スピーチと合流し、「強行採決を許さない」との人々の熱気が街を包んだ。

憲法を蔑ろにし、国会審議を通じて次々と明らかになった問題や疑念に十分な説明を尽くさず、法案成立に反対する国民の多数の声を踏みにじるような強行採決が許されてよいはずがない。もはや廃案しかありえないのであって、国会議員の一人ひとりがどういう行動をするのか、国民の視線が注がれている。

私たち京都府保険医協会は、生命を守ることを責務とする医師として、その対極にあるこの法案の成立に異を唱え続け、できうる行動を重ねてきた。

安保法案の廃案に向けて、野党が徹底抗戦を続けることを支持するとともに、与党議員にも理性的、良識的、何より憲法を守る行動をとられることを切に願う。

2015 年 9 月 17 日

京都府保険医協会

理事長 垣田さち子